

企画展



# 染

せんしよくが  
染色画から染織まで  
そめおり

平成23年 5月18日(水)～6月16日(木)

〔開館時間〕 9時30分～17時 観覧無料

〔休館日〕 日曜(5月22日は開館)

〔開催場所〕 東京家政大学内・百周年記念館5階 展示室

〔下車駅〕 JR埼京線「十条」駅徒歩5分／都営三田線「新板橋」駅徒歩12分

◎染色体験 色挿しをしてみよう!

6月2日(木)、6月4日(土) 各日13時30分～15時30分

当日13時より企画展受付にて受付

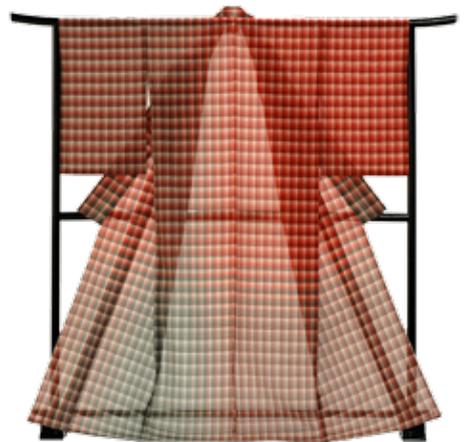
定員10名(希望者多数の場合は受付時に抽選)

東京家政大学博物館



東京都板橋区加賀 1-18-1 TEL 03-3961-2918

<http://www.tokyo-kasei.ac.jp/hakubutu/>



# 染

せんしよくが そめおり  
— 染色画から染織まで —

2011年

5/18 (水) - 6/16 (木)

染色の歴史は古く、古代よりその技術は発達してきました。染色とひと口に言っても様々な種類があり、染めた糸を織ることによって、また違った表情を見せます。

今回は、『染』をテーマとし、本学元非常勤講師(日展参与)の堀友三郎氏の「のり染」による防染技法で描かれた染色作品(染色画)や、四季折々の身近な植物を写実的にあらわした型紙を中心に紹介します。

また、人間国宝(重要無形文化財の保持者)である鈴田滋人氏や土屋順紀氏の伝統的な技法に独自の感性が加えられ、形になった日本の染・織の作品などを展示します。木版と型紙を併用し構成された「木版摺更紗」の帯や、糸を何段階にも染め分け、濃淡をつけたものを織ることによって生まれる美しいグラデーションの「紋紗」の着物など、「染」の数々で彩られた展示室に是非、足をお運びください。

## <丸紋型紙>



「ミモザ」



「ゆりの木」



「鐵仙」



「シンビデュム」



「月下の美人」



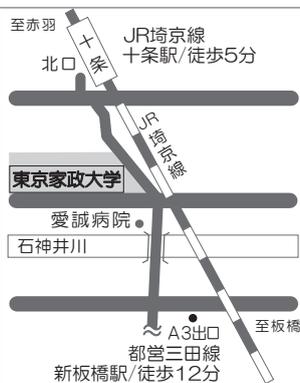
「さんきらい」

\*会期中展示替えがあります。

## <イベント>

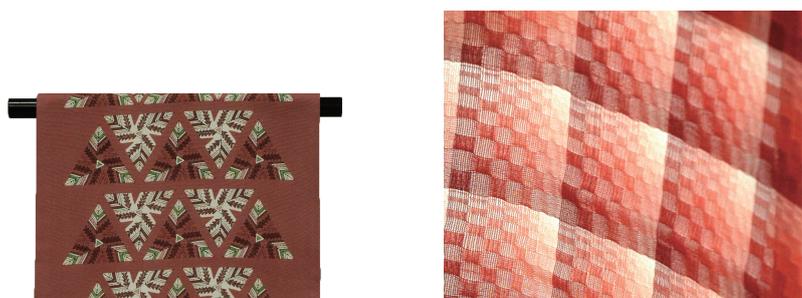
- ・染織体験「色挿しをしてみよう！」  
6月2日(木)、6月4日(土)  
詳しくは表面をご覧ください。
- ・博物館見学ツアー  
5月23日(月)～27日(金)  
[①11時～、②15時～ 各回30分程度]  
企画展・常設展の解説や、収蔵庫見学などのコースを予定しております。  
ご希望の方は、百周年記念館5階 企画展受付に集合して下さい。

## <交通案内>



\*十条駅北口を降りて左手に進む

\*今後の計画停車等の状況により開館日、開館時間などが変更される場合があります。



土屋順紀作 紋紗着物「赤烏」部分



鈴木滋人作 木版摺更紗帯「群衆」



同部分

<表>左上:堀友三郎作「浜辺の蝶」、右上:同「萩」部分、右下:土屋順紀作 紋紗着物「赤烏」

